



2018



CHARTERED SEPT. 11, 1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2018 - 19 会長主題

地元とつながろう

あずさ部長	廣瀬 健 (甲府 21)	「未来はそれに備える人のものである」
東日本区理事	宮内友弥 (東京武蔵野多摩)	「為せば、成る」
アジア太平洋地域会長	田中博之 (東京多摩みなみ)	“ Action ”
国際会長	Moon Sang Bong (韓国)	“ Yes, we can change ” 「私たちは変えられる」

会長 浅羽俊一郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 尾内昌吉 / 会計 中村孝誠
 直前会長 上妻英夫 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

2018年9月
東京山手・東京たんぽぽ 合同例会
 <ユースの月>

と き **9月18日(火) 18:30-20:30**
 ところ **東京YMCA本部事務所**
 新宿区西早稲田2-3-18
 日本キリスト教会館 6階
 TEL03-6302-1960
 地下鉄東西線「早稲田」駅から徒歩5分

会費 1,000円
 受付 功能文夫 (山手)
 小原史奈子 (たんぽぽ)

司会 尾内昌吉 (山手)
 開会点鐘・挨拶 山手会長 浅羽俊一郎
 モットー・ワイズソング 一同
 聖句朗読・祈祷 飯島隆輔 (山手)
 ゲスト・ビジター紹介 各会長
 会食

部長公式訪問挨拶 廣瀬健あずさ部部長
 部長と懇談の会
 「EMC-部長と語り合おう」

連絡・諸報告 各担当役員
 誕生日お祝い
 ニコニコ 一同
 ちょっと一息 (たのしい歌) 指導 越智京子
 閉会点鐘 たんぽぽ会長 越智京子

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う 』

“ To acknowledge the duty
 that accompanies every right ”

今月の聖句

しかし、イエスは乳飲み子たちを呼び寄せて言われた。「子供たちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。はっきりしておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。」
 ルカによる福音書 18章 16、17節

8月報告

会員在籍数		13名
例会出席者	メン	5名
	メネット	1名
会員出席率		38%
ゲスト・ビジター		1名
		合計5名
ニコニコ	1円 (累計4,000円)	
B F 国内切手	-g	外国切手-g

9月 HAPPY BIRTHDAY

浅羽俊一郎さん 20日

東京YMCA夏祭り



8月例会 報告

8月25日(土) 11:30~15:30

東京YMCA東陽町センター

東京YMCA夏祭りに参加

参加者：飯野、尾内、尾内(規)、功能、中村
(5名)

① 参加者は5名と少なかったが、各自が会場内で昼食を済ませたあと、東京たんぽぽYサービスクラブの小原史奈子さんを交えて9月の合同例会について打合せを行った。詳細は後日小原さんより連絡して頂く事とした。

② 今年の夏祭り参加者は例年に比べ多少少なく感じたが ラッフル券の売り上げは900番代まであった。

③ 生演奏は例年の如く、ザ・ドリーム・スクエア・ジャズオーケストラの皆さんで曲目はコバカバーナ他で何と言っても最後はヤングマン・・・・・・Y・M・C・Aで全員が踊り終了となった。

④ 模擬店も14店舗出店していたが完売店も出るほどの大盛況だった。

⑤ 最後のお楽しみ抽選会では山手クラブの皆さんで購入したラッフル券は48枚だったが、1等のスロージェーサーは逃したものの増野さんが見事5等賞(選べるギフト)に当たった。おめでとうございます。

⑥ 以上ですが記事を纏めるにあたり、戸坂さんにご協力頂いた事また山手クラブの皆さんに宜しくとのメールを頂いた事を付記し報告とします。

(尾内)

←設立から2年の東京多摩みなみクラブのお店は料理にも担当者のシャツにも帽子にも、どこにも「たぬき」、イメージづくりお見事でした。

ヨルダン会(8月)

8月ヨルダン会は休会にしました。

会費の納入は、会計(中村君)への納入または下記銀行口座への振込みをお願いします。

三菱UFJ銀行 高田馬場駅前支店

普通 3548431「東京山手ワイズメンズクラブ」

韓国麗水 第73回国際大会 表彰

8月9日～12日に開催された韓国麗水(ヨス)での第73回国際大会において、東京江東クラブの藤井寛敏さん(元国際会長)がバランタイン賞を受賞されました。バランタイン賞はワイズメンズクラブ国際協会25,000人の中からお一人だけが表彰されるワイズメンにとっては最も名誉ある賞です。藤井ワイズの長年の功績が高く評価されたもので、まことにおめでとうございます。

また、特に傑出した働きをした部長に与えられるエルマークロー賞は、前年度東新部部長としてご活躍された伊藤幾夫さん(東京多摩みなみ)が受賞されました。おめでとうございます。

2010年8月の横浜国際大会では、わが東京山手クラブのチャーターメンバーである奈良信さん(元国際副会長)がバランタイン賞を受賞されたことが思い出されます。

おたより(8月)

<大阪茨木クラブ・野田将弘さん> お世話になっております。ブリテンの野田です。この度は貴クラブブリテンの送信ありがとうございます。また寄せ書きをわざわざ文字起こししてまでブリテンに入れていただきありがとうございます。大変お手数をおかけし恐縮です。感謝申し上げます。

<上妻英夫さん> 「刈のがれ背高青麻あおそに朝のかぜ」70年前、麻糸を取るため貴重な作物であった青麻が今は雑草で邪魔物、しかし刈り残り嬉しそうに朝風にゆらけている。

<浅羽俊一郎さん> ひと月以上日本を留守にし、クラブ会長としてはまたもや皆さんにご迷惑をおかけしました。でもその間世界YMCA同盟での打ち合わせがあり、ヨハン総主事にも挨拶し、何よりもパリ基準の実物を見させてもらいました。絵はがきより一回り大きい紙切れに鉛筆字特有の書き込みがあり本物と分かりました。細い糸で19世紀のYと繋がった感動を覚えました。

1. 西日本豪雨災害

全国YMCAが協力し、西日本豪雨災害被災者支援のため、2,500万円の目標額を掲げ募金活動を展開しています。募金を用いた支援活動として、広島YMCAが主管となり、全国YMCAからボランティアを受け入れ、家屋の泥だしなどのワークを行ないます。また被災した小学生を対象としたリフレッシュキャンプも実施することが決まりました。今後も中長期的な視野に立って、支援活動を継続していく予定です。引き続きのご支援をお願いします。

2. 山手会館 耐震補修工事

山手会館の耐震補修工事が始まっています。夏休みを利用して地下プールエリアの工事が概ね終了しました。地下プールロビーもきれいになって、子どもたちの泳ぎが少しでも良く観られるよう観覧席も工夫しました。

プールのみ9月よりスタートします。引き続き、地上階の工事がおこなわれます。

3部署合同(ホテル学校・高等学院・山手コミュニティセンター)の仮事務所が正面入って左のホールに設置されています。

3. 夏のプログラム

山手コミュニティセンター夏のプログラムが無事に終わりました。会館を利用した語学や工作スクール、山中湖、野尻湖、赤城、香川県の余島へ行くキャンプなど300名を超える子どもたちが参加しました。

4. 9月の予定

- 9月 2日 しんじゅく防災フェスタ
 - 9月 15日 国際協力募金 新宿駅周辺
 - 9月 23日 チャリティーラン
- (星住秀一)

.....



米国ニューヨーク州西部を旅して

金本 伸二郎

ジェネシオ

8月14日から10日間、米国ニューヨーク州北西部の都市ロチェスター市から南西に車で30分程にあるジェネシオという町に行ってきた。長女夫婦がこの町にある州立大学でこの秋から教鞭をとることになったことを機に出ることにしたのである。



ジェネシオ大学構内にて

この町は、大学街なのだが、丁度夏季休暇中で、街は閑散とし、8月27日から始まる新学期に備える準備をしている感じであった。オンタリオ湖のすぐ南にあり、メイプル（サトウカエデ）が林立し、ニューヨークといっても大都市ニューヨークを思わせるものはなく、どちらかというとカナダを思わせる。訪問してから2日目、少しばかり黄色く色づいた葉がひらひらと落ちていく様に早くも「秋が来た」とつぶやく。カナダのメイプル街道がこの地まで続いていたのなら、「ここが、街道の始まりだよ」と言いたくなるくらいである。

この町近く東方には、十幾つかの大小の湖群があり、総称してフィンガーレイクと呼ばれる風光明媚な自然恵まれた地があり、有名人が夏の2~3か月間避暑地として利用しているという。北西に1時間も車で走れば、ナイアガラの滝ということで、観光の足場にもなりそうだが、町名にVILLAGEを残していることから、小さな町であり続けることを誇りにしているのだろう。この町のダウンタウンは距離にして数百メートルで、その中心は二階建ての老舗ホテルであり、入り口近くの喫茶ロビーで歓談している様子が、良きアメリカを感じさせる。

ニューヨーク州民について

ここ10年間で、米国に何回か旅行したが、ニューヨーク州は比較的州の意識が少ないのではないかと感じた。東京では時折「I ♥ NY」なるTシャツを見かけるが、このマークを見たのは高速道路で1回限り、そして、星条旗は見るがニューヨーク州旗はほとんど見る事がなく、この地域独特なのかもしれないが、あくまでも旅行者の目から見ると州民意識が少ないのを感じた次第だ。因みに逆なのは何と言ってもテキサスであった。

ロチェスター日本語教会

旅行中の日曜日にはジェネシオの教会ではなく、ロチェスター日本語教会に出席した。とある教会の一室を借りて礼拝を行っている。当日の列席者は我々4名を含めて30名程とこじんまりとしていた。普段は旅行者の出席はほとんどない様子で、大層歓迎してくれた。牧師先生は奥様が日本人の韓国の方で、午前中は韓国語教会で説教をされ、午後はこの教会の牧師として働かれており流暢な日本語を使われている。

ロチェスターと周辺地域の日本人コミュニティの交流の場にもなるよう、2004年に創立されたとのこと。現地にお勤めになっている日本人家族やかつて日本で宣教師として働かれたアメリカ人もいたが、現地の方と結婚された一世や、二世の方々も多いようであった。第一日曜日はアメリカ人宣教師の英語による説教なので、ご夫君が出席され、列席者も増えるのだそうだ。ここでの交流を通し、日本語を大切に守り、自らのアイデンティティを保っている方が多いのではないかと感じた。さらに、日本人留学生への働きかけ、現地の方々への日本文化の発信など、大きな働きをしていることを垣間見て、帰国した。



フィンガーレイクの一つ「カナディス湖」

私 と B F

上妻 英夫

今期のクラブ役割を決める際、BF担当予定の会員の事情により、担当を変更する事になった。現在のBFは殆ど現金ポイントで予算化されており、BF担当は居なくとも良いとの事、小生はどうも納得得られぬまま、その場の御意見に賛同致しました。

それでロースターに目をやると、BF担当者を置かないクラブの多い事、ここで仕方ないと考えたが、とうとう次期BF担当を申出たのです。今考えると高齢者はじっとしていれば良いものを…

私が何故切手にこだわったのか。実は1961年2月東京ワイズに紹介され最初の時、欽持参との事でした。例会が始まり暫くして、手元に古切手が置かれたのです。それ以来何となく切手整理に精出す様になり、クラブ年度最終月には色々な表彰が行われた中、1981-2/BF・万が会員とて表彰されました。

又1980年ストックホルム国際大会終了後、小生の為ノルウエー北極の街トロムソクラブ訪問にBF代表で行けると、ワイズ日本区事務所長堀部孝三兄から言われた。話に依るとトロムソクラブとオスロクラブ訪問であるが語学に躊躇して居たら、堀部孝三兄も同行するとの事でした。

また、推薦の理由を正したら、今年度日本区はEMC事業で9クラブチャーターしたからの事です。そして国際大会席上で国際協会からEMC表彰を竹内敏郎理事に授与された次第です。大会後思い掛けない旅行、特に白夜の国には一度旅したいと思って居ただけに特別な思いもありました。トロムソクラブの歓迎会にはYMCAでオルガンに合わせて、日本の童謡サクラ、サクラを全員で合唱して下さった。白夜の海岸散策、そして夜1時頃、カーテンを開けると昼の如く明るい、此が白夜か見入った次第です。オスロではホストメネットが私達の為に朝御飯(米食)を用意してもてなす心使いに感激致しました。又オスロ彫刻公園に見とれ、BF代表旅行に感謝し、思出を胸に占め皆と北極回りで帰国しました。

その後1992年8月妻と再度トロムソを訪問したが、トロムソYMCAは見つかりませんでした。

77年日本区理事佐藤邦明兄から急に東地区トラベルコーディネーターに指名されたが語学で辞退・再度説得に引受けた次第です。

※78年6月13日

スリランカBF代表

Mr.スタンレー・ジャヤマクイック、

※78年8月13日

米国BF代表(カンナポリス)、

Mr.ドーナツカハウルド・ターナー

※82年7月4日

オーストラリアBF代表

80~82 I.V.P South Pacific

Mr.サンドラ・バラアド、

バザラアド御夫妻 外2名

※86年5月9日

インドBF代表(コチン)

Mr.C・Kトーマス・スシーラ御夫妻

※87年7月6日

米国BF代表(オハイオ)

Mr.アート・マイク・クエ

これまで5組のBF代表受け入れましたが、その他大勢ワイズが来訪頂き、お陰で色々な方々とお話出来たのも、ワイズBF事業が活発であったからでしょう。誰もが申込みば世界のワイズと交流出来るのです。

この基金は1931年国際大会の余剰金が国際友好基金として通常会計に含まれず、独自の国際大会等・招聘資金として運用。名称もビショップ(司教)ファンドとし、世界のワイズメンが恩恵を得られたのです。また切手と共に現金拠出併用で一層拡大しました。

1968年、名称をブラザーフードファンドと改正されました。ワイズは破棄される古切手を商品として活用してきたが、古切手は色々な制約から遠ざけられて居る。それと通信革命による切手使用の減少もあります。

でもちょっと古切手に手を掛けて見まじょうか。塵も積もれば山となる。

参考:

「日本ワイズメン運動史 半世紀の歩み」1980

鈴木健次さんのこと

浅羽 俊一郎

今月 12 日まだ在仏中の私に鈴木久子夫人からの連絡で敬愛する健次さんが天に召されたこと知りました。

健次さんと出会ったのは私が東京 YMCA 江東ブランチに着任した 1974 年 4 月のこと。その後江東ワイズや会員活動の中で目にした彼の行動や議論はとても勉強になりました。元井章仁氏（故人・私の仲人）が後ろから支えるリーダーなら、健次さんは前から引っ張るリーダー。私が描く Y の会員像はこの 2 人がモデルです。私はその後 20 年余り Y から離れていましたが、10 年ほど前に四谷の居酒屋で彼と再会しました。不思議なくらい話が弾みましたが、そこでさりげなくご自分が洗礼を受けたと打ち明けられた時は不覚にも涙が溢れてしまいました。

そして 2011 年秋に東日本区の資金が不足するという事件が発覚し、その責任を取って健次さんはワイズも東京 Y も辞められました。私はその頃日本を離れており、後日そのことを知りましたが、まず彼のことが気になり、翌年早々 2 人で会い 4-5 時間語り合いました。その後、年に数回会い、そのうち Y の会員・職員も彼に会いに来てくれました。ある早天祈祷会後の朝食会で、私が鈴木さんに触れて「彼に対して俗世間とは違うワイズらしい関わり方を期待したい」と言ったところ、石井一也氏（故人）が閉会后私に握手を求めてきたのには驚きました。新宿の居酒屋のライブに最後に来られた時は偶然来ていた元ワイズメンとも会い、喜んでおられました。そして昨春何とか不足金を満額返済されました。



この 6 月連絡があり、検査入院中の健次さんを見舞いました(写真)。長居はできませんでしたが、そこでも老人クラブを手伝っているという話のほかはやはりワイズ・YMCA のことばかりでした。退院したら会う約束でしたのに。

中学時代からの自分の人間形成は全て Y のお陰、と繰り返し Y への想いを語っていた健次さんでしたが、その東京 Y が最近会員復帰を彼に勧めたそうです。元気であればきっと戻られたと信じています。健次さんは今はかつての盟友と天国で一緒ですが、そこでも走り続けることでしょう。久子夫人、ご遺族の皆様が神様の深く暖かい慰めに包まれますよう祈ります。[イザヤ 40:31]

.....

訃報

鈴木健次さん（東日本区初代理事、元東京ひがしクラブ）肝硬変のため入院中でしたが、8 月 12 日早朝、敗血症のため召天されました。81 歳でした。